2011

広報 おばま 7

《表紙》

遠敷保育園と雲浜保育園の園児約40人がサツマイモの苗を植えました。苗植えは伏原の畑を借りて行われ、園児たちはスコップで土を掘り、1株ずつていねいに植えていきました。

（6月3日）

【特集】分別・収集・リサイクル

市民の安全安心を最優先

～電力事業者との安全協定の見直しを要請～

■問い合わせ　企画課☎342

嶺南の原発

嶺南地域には、敦賀市、美浜町、おおい町、高浜町に合計14基の原発があり、そのうち7基が運転中です。

福島第一原子力発電所の事故で、半径20キロ圏内は現在も「警戒区域」に指定され、住民は一時立ち入りがやっと許可される状態です（6月17日現在）。

今回の事故を受け、原発への安全対策の見直しが不可欠になりました。

安全が最優先

次ページの地図からわかるように、大飯原発から10キロ圏内には、小浜市の一部が含まれます。人口にすると、市内の約半数になる一万六千人、20キロ圏内になると、ほぼ市内全域が含まれます。

福島原発の事故を受け、市は、市民の安全確保や原子力防災の強化を県や国に要望してきました。

また、松崎市長は5月31日に大飯原発の安全対策を確認し、小浜市と電力事業者が結ぶ安全協定の見直しを強く要請しました。

安全協定

原発の立地自治体、その自治体に隣接する準立地自治体は、電力事業者とそれぞれ安全協定を結んでいます。その安全協定の内容は、立地自治体だけに認められる立ち入り検査の権限や原子炉の運転再開の協議など格差があります。

福島の事故をみると、安全対策については立地、準立地の区別はありません。

準立地自治体である小浜市は、市民の安全安心を確保するため、立地自治体並みの安全協定の見直しに取り組んでいます。

また、万が一に備えて、避難路の確保など、原子力防災の強化が課題となっています。

大飯原発の安全対策を確認

福島第一原発の事故を受け、国から各電力事業者に緊急安全対策が指示されました。

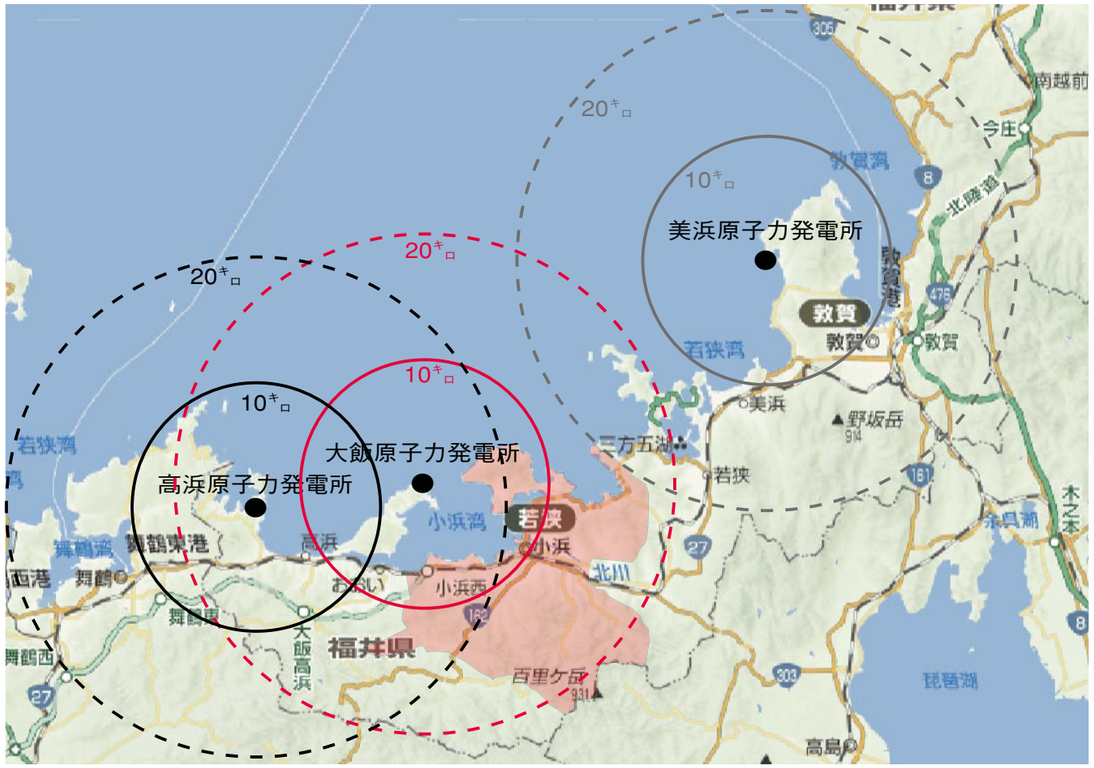
市民の安全安心を確保するため、松崎市長は5月31日、小浜市から最も近い大飯原子力発電所の安全対策を確認しました。

福島の事故を受け、想定以上の津波への対策や、通電できなくなったことを想定した電源車や消防ポンプの配備など、緊急的、応急的な対策を確認し、空冷式ディーゼル発電機の設置や海水ポンプの防護壁、防波堤のかさ上げなど順次整備するとの説明を受けました。

その後の意見交換では、安全対策の強化や、高経年化対策の積極的な情報公開、立地自治体並みの安全協定の見直しを電力事業者に強く要請しました。

電源車の配置を確認する松崎市長

【小浜市と美浜、大飯、高浜原子力発電所の位置関係】



【小浜市の主な取り組み】

3月15日	準立地協議会（小浜市、若狭町、越前町、南越前町）が、知事に事故の収束、安全対策の強化、原子力防災指針の見直しなどを要請
3月19日	準立地協議会が、日本原子力発電、関西電力、日本原子力研究開発機構の3電力事業者の説明を受けて、今後の取り組みを協議
4月5日	福井県市長会に緊急安全対策や住民の安全安心確保などの緊急要望書を提出
4月8日	準立地協議会が、国と福井県選出の国会議員に事故の収束、安全対策の強化、原子力防災指針の見直しなどを申し入れ
4月26日	準立地協議会が、県と県の取り組み状況や原発の安全対策について意見交換
4月28日	準立地協議会が、国と福井県選出の国会議員に事故の収束、安全対策の強化、原子力防災指針の見直し、風評被害への防止策、避難道路の整備などを要請
5月31日	松崎市長が、大飯原子力発電所の安全対策を確認し、安全協定の見直しを要請
6月9日	小浜市議会が「原子力発電からの脱却を求める意見書」を可決

分別・収集・リサイクル

家庭から出るごみの約2割を資源として再生利用していることをご存じですか？

市では、平成六年に「埋め立て、缶類、金物、有害ごみ」、同九年に「ペットボトル、ビン」、そして同十七年に「その他プラ、その他紙、新聞・雑誌、段ボール」の分別収集を開始しました。

その結果、市民の皆さんのご協力で、燃やすごみや埋め立てごみは減少傾向、資源ごみは増加傾向にあります。

今月は、資源ごみがどのようにリサイクルされるか、ごみの出し方の注意点を交えてご紹介します。

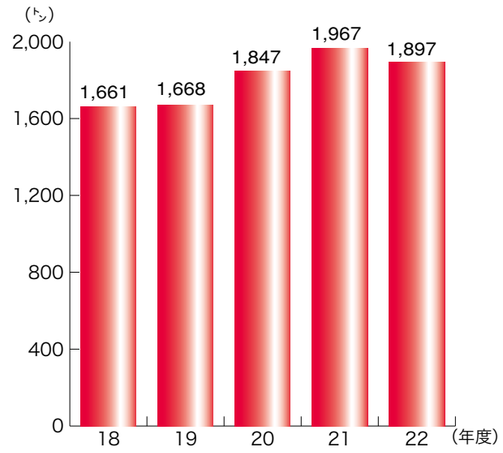
■問い合わせ
環境衛生課☎内線144

資源ごみ

収集した資源ごみ（缶やプラスチック、新聞紙など）は、市内の業者などに引き取ってもらいますが、平成二十二年度の資源ごみの量は、1897トンになりました。同二十一年度に比べて70トン減少しましたが、ごみの総量も約286トン減少しています。ごみの量は、その年によって多少の増減があり、五年間の推移を見ると、資源ごみの量は全体として増加傾向になっています。

ごみの総量に対して、リサイクルできる資源ごみの割合（リサイクル率）は21・6パーセントと前年度と比べて1・0パーセント上昇しました。同十八年度は17・3パーセントでしたので、皆さんの分別する意識が高くなり、協力していただいている結果と考えています。

【5年間の資源ごみの量】



ごみからの収入

分別していただいた資源ごみは、業者に引き取ってもらい、再生利用しています。

資源ごみの中でも、スチール缶やアルミ缶を含む金属類、ペットボトル、発泡スチロール、ガラス類は売却でき、市の収入になる貴重なごみです。

830万円

平成二十二年度には、約830万円の売却益がありました。これらの収入は、クリーンセンターやリサイクルプラザの維持管理費や市内のごみ収集の委託費などに充てています。

資源の再利用

集積所に集められた資源ごみはどこに持って行かれるのか、また、家庭から出た資源ごみがどのように再利用されるのかご存じですか。

次は小浜市の資源ごみのリサイクルについて紹介します。

ごみ集積所から資源を持ち去らないでください

スチール缶やアルミ缶、新聞、雑誌、段ボールなどの資源ごみを、市が委託した収集業者が回収する前に、持ち去る行為が見られます。

ごみ集積所からの持ち去りは絶対にしないでください。

※市では早朝パトロールなどを実施しています。資源ごみを持ち去る行為を見かけましたらご連絡をお願いします

その他紙

【収集後】
市内の業者で、圧縮梱包処理した後、製紙メーカーへ

【処理後】
トイレットペーパーや再生紙などに

ペットボトル

【収集後】
リサイクルプラザで細かく砕き、県内の業者を通じて衣料メーカーへ

【処理後】
服や布団、保護シートなどの繊維商品に

有害ごみ（乾電池、蛍光灯など）

【収集後】
蛍光灯はリサイクルプラザで細かく砕いてからドラム缶に詰め、乾電池はそのままドラム缶に詰めて、県外のリサイクル業者へ

【処理後】
蛍光灯は、断熱材やセメント材料、水銀などに、乾電池は鉄筋などの鉄製品や水銀などに

その他プラ

【収集後】
市内の業者で、圧縮梱包処理した後、県外のメーカーへ

【処理後】
プラスチック製品や固形燃料に

金属類（スチール缶・アルミ缶・その他金物など）

【収集後】
市内の業者に売却し、その後、原料メーカーや製造メーカーへ

【処理後】
鉄骨材料や各種金属製品に

瓶（びん）

【収集後】
県外のガラス瓶リサイクル業者に送り、細かく砕き、瓶製造メーカーへ

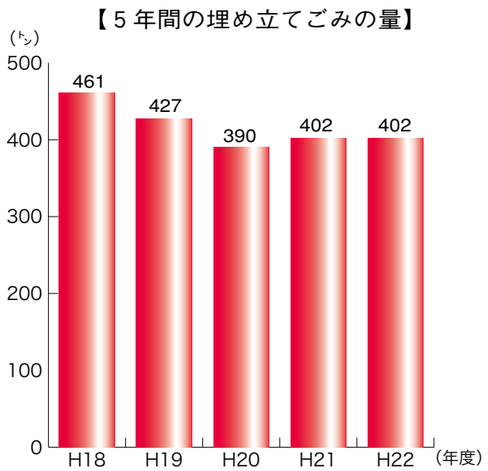
【処理後】
茶色や無色は再び瓶に、その他は道路路盤材などに

埋め立てごみ

平成二十二年度に埋め立てごみとしてリサイクルプラザに搬入された量は402トンで、同二十一年度と同量でした。

過去五年間の推移は、平成二十一年にわずかに増加しましたが、全体的には減少傾向です。

搬入された埋め立てごみはそのまま最終処分場に埋め立てず、そこから徹底的に分別して再利用しています。



埋め立てるまで

①袋を破って中身をチェックし、手作業で不要な物を取り除く
②破砕機で細かく砕き、分別しやすくする
③磁選機で金属類を取り除く
④残ったごみを風力選別機、回転選別機で燃やすごみを取り除く
⑤最後に残ったごみを埋め立てる

ごみから発火

埋め立てごみの収集中、収集したごみから発火する事故が毎年発生しています。

原因は、ガスを抜いていないライター、スプレー缶などが収集車で圧縮されて発火したものと思われます。

現在でも、収集された埋め立てごみを手作業で仕分けるときに、ガスを抜いていないライターやスプレー缶が数多く混入しています。

今後、発火事故が起きないように、次のことを必ず守ってください。

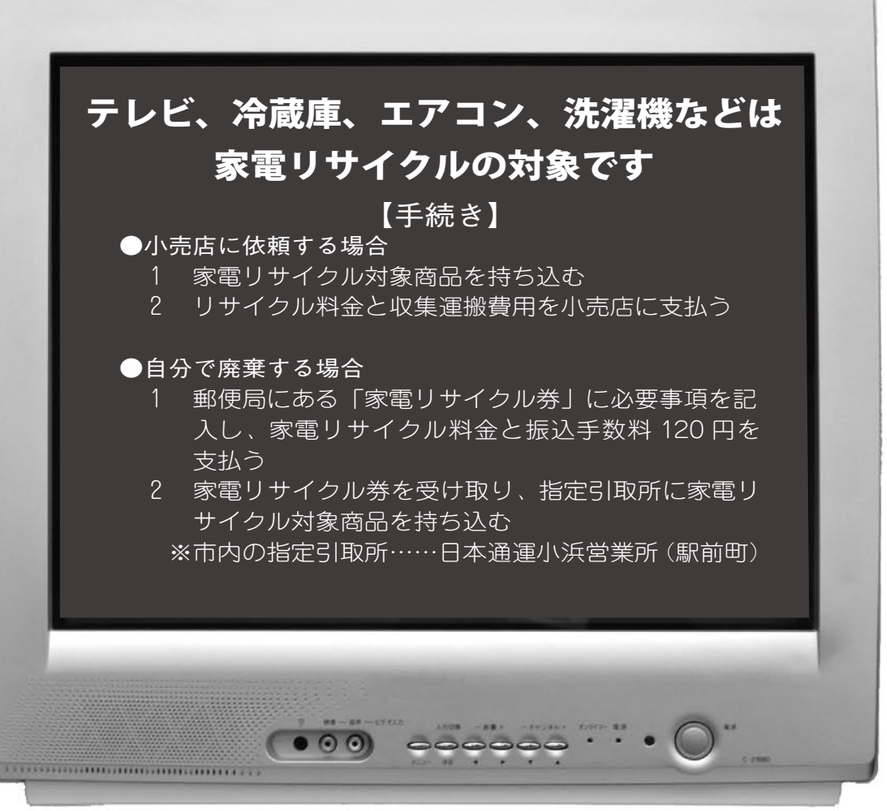
H19.10.10 火災事故の様子

■スプレー缶は、穴を開けてから、アルミ製のものは「アルミ缶」へ、スチール製のものは「スチール缶」へ、材質が不明なものは、「その他金物」の指定袋へ入れてください
※「埋め立てごみ」の袋へは入れないでください

■ライター（一〇〇円ライターを含む）は金づちで割るなどしてガスを抜いてから「埋め立てごみ」の指定袋へ入れてください

■電化製品やおもちゃに入っている乾電池は取り外して「有害ごみ」として出してください

※電化製品でもテレビ、エアコン、冷蔵庫、洗濯機は、家電リサイクル法の対象商品です（次ページ参照）

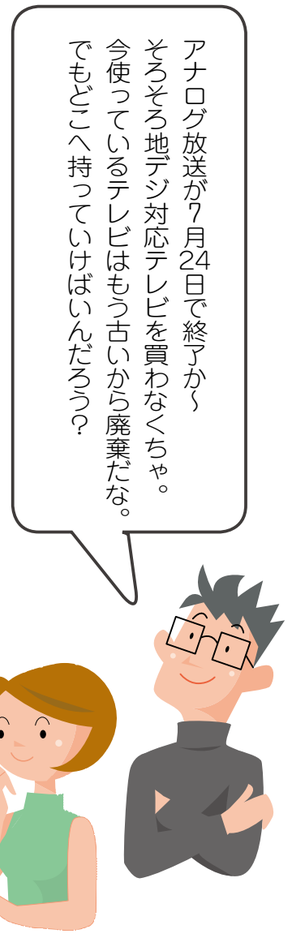


テレビ、冷蔵庫、エアコン、洗濯機などは家電リサイクルの対象です

【手続き】

●小売店に依頼する場合
1　家電リサイクル対象商品を持ち込む
2　リサイクル料金と収集運搬費用を小売店に支払う

●自分で廃棄する場合
1　郵便局にある「家電リサイクル券」に必要事項を記入し、家電リサイクル料金と振込手数料120円を支払う
2　家電リサイクル券を受け取り、指定引取所に家電リサイクル対象商品を持ち込む
※市内の指定引取所……日本通運小浜営業所（駅前町）



テレビは家電リサイクル法の対象商品で、製造メーカーが責任を持ってリサイクルするんですよ。わたしたちは、小売店などににリサイクル料などを支払えば完了です。テレビの他には、エアコン、冷蔵庫、冷凍庫、洗濯機、衣料乾燥機があるので気を付けてね。

燃やすごみ

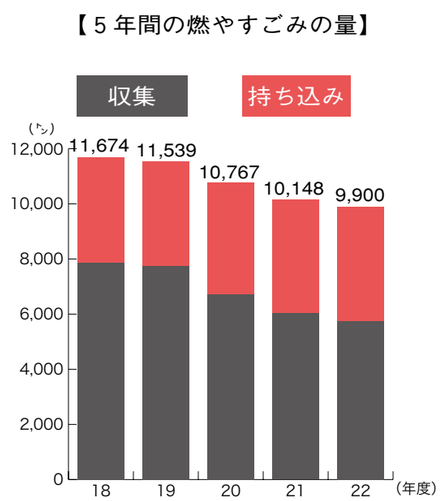
平成二十二年度の燃やすごみの搬入量は、9900トンで、前年度から248トン減少しました。特に、分別の徹底で、収集ごみ（家庭からのごみ）が減少していることが鮮明にわかります。

半分は水分?

クリーンセンターでは年四回、搬入される燃やすごみのごみ質検査を実施しています。市民の皆さんが分別にご協力していただけるおかげで、紙やプラスチックなどの資源ごみの混入は年々少なくなっています。

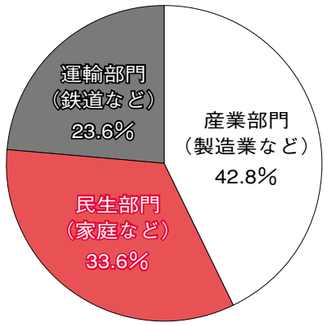
しかし、ごみの成分をみると、平均50・7パーセントが水分だということがわかりました。ごみに水分が含まれると、重くなるだけでなく、クリーンセンターでの焼却の効率が悪くなります。

生ごみなど、水分が多く含まれるごみは、十分に水気を切っていただきますようお願いします。



取り組もう！家庭のエネルギー削減

【2009年の国内のエネルギー消費割合】



産業の発展やライフスタイルの変化で、わたしたちの生活は非常に快適で便利になりました。しかし、その分自然環境に負荷がかかり、地球温暖化が進むなど影響が出ています。

そこで、地域の社会システムやライフスタイルを見直し、環境負荷の少ないものへと転換していくことが求められています。

家庭に「無駄」はありませんか？

資源エネルギー庁によると、エネルギーの約三割は家庭や企業のオフィスなどで消費されています。電化製品や自家用車が増え、年々原油や電気などのエネルギー消費量も増加しています。

その増加を抑え、減少させるのに皆さんの協力が必要です。ちょっと周りを見渡してください。家庭やオフィスで使われるさまざまなエネルギーが無駄に使われていませんか。

始めよう「省エネ対策」

東日本大震災の影響もあって、全国的に夏場の電力不足が懸念されています。

夏場に向けて、エアコンなどの使用時間が増え、電気使用量の増加が予想されます。

そこで、「環境問題」の手始めとして、まずは「省エネ」から対策してみてはいかがですか。

皆さんの家庭でも、使っていない電化製品のコンセントを抜くなど、お金をかけずに簡単にできる「省エネ」対策はたくさんあります。次ページに省エネを含むエコ対策を紹介しましたので、ぜひチャレンジしてみてください。

みんなの力を合わせれば…

「この省エネを取り組めば、年間500円削減」など聞くと、効果が少ないように思えますが、国内の全世帯が取り組むと大きな成果が得られます。

- 冷房設定温度は27度を28度に変更する
- 暖房設定温度は21度を20度に変更する
- 冷暖房の運転時間を一日一時間ずつ短縮する

例えば、エアコンで上の三つの省エネ対策を全世帯で一年間実践するとどれくらいの効果があると思いますか。

【消費電力で換算】
・200億キロワット
【原油で換算】
・ドラム缶（200リットル）で約2527万本
・東京ドーム4つ分
【二酸化炭素削減量で換算】
・約704万トン
※財団法人　省エネルギーセンター「家庭の省エネ大辞典」から引用

いかがですか。あまりに大きい数値なので、イメージしにくいかもしれませんが、省エネはひとりひとりが関心を持ち、できることから始め、継続することがことが大切です。

■問い合わせ
環境衛生課☎内線144

今から始める エコ対策

～いくつ実践できるかな？～

チェック欄

～家庭編～

- □【初級】普段使用しない電化製品のコンセントを抜く　効果絶大
  〈効果〉待機電力を削減
- □【初級】冷蔵庫の設定を強から中、中から弱に変更する
  〈効果〉消費電力の軽減
- □【初級】冷蔵庫の開閉回数、開閉時間を減らす
  〈効果〉消費電力の軽減
- □【初級】テレビやパソコンの画面を少し暗めにする
  〈効果〉消費電力の軽減
- □【初級】電球は電球型蛍光灯やLEDに交換する　効果絶大
  〈効果〉消費電力の軽減
- □【初級】洗濯はできるだけまとめて洗う　効果絶大
  〈効果〉消費電力の軽減、節水効果
- □【上級】電気はセンサーで人がいるときだけ付くようにする
  〈効果〉消費電力の軽減

～冷暖房編～

- □【初級】できるだけ家族全員がひとつの部屋で過ごす　効果絶大
  〈効果〉消費電力の軽減
- □【初級】冷房は28℃以上、暖房は21℃以下に設定する
  〈効果〉消費電力の軽減
- □【中級】部屋の出入口にのれんを付ける
  〈効果〉冷暖房効率の向上
- □【上級】窓ガラスに赤外線カットフィルムを貼る
  〈効果〉冷暖房効率の向上

6月1日、口名田小学校で
グリーンカーテン作り

～屋外編～

- □【初級】自動車のエンジン回転数を上げすぎない
  〈効果〉燃料消費の削減、CO_2削減
- □【初級】日よけのため、植物でグリーンカーテンを作る
  〈効果〉ふく射熱の軽減、省エネ効果
- □【初級】マイバッグを持って買い物をする
  〈効果〉ごみ削減
- □【中級】近場の移動は自動車から徒歩や自転車に変更する　効果絶大
  〈効果〉CO_2削減、健康増進
- □【中級】通勤や遠出は電車やバスなどの公共交通機関を利用する　効果絶大
  〈効果〉CO_2削減